

# 広 報



# MISHIMA

k e n s y o u k a i

## 三島博士顕彰会

第47号

【令和3年5月】



令和2年度 洲本市まちづくり懇談会

### 三島徳七博士の生い立ち

- ・明治26年2月24日  
津名郡広石村下楯(現・五色町広石下)生まれ  
男5人女2人の7人兄弟の末っ子
- ・毎日家業の農業や醤油、酒の小売業を手伝いながら  
広石尋常高等小学校を卒業
- ・父親の反対で中学に行けず、書生になって雑用を  
こなしながら独学で勉学に励む
- ・17歳で立教中学の4年編入試験にトップ合格
- ・その後、第一高等学校、  
東京帝国大学(現・東京大学)に入学



「マグネットの三島」と呼ばれた世界的工学博士三島徳七博士を顕彰する活動を語る

(洲本市まちづくり懇談会/五色文化ホール) 3 P参照

## ● 発 行 者 ●

兵庫県洲本市五色町広石中90-5

「三島博士顕彰会」

TEL0799-35-1166 FAX0799-35-1167

特別寄稿

未来を切り拓く広石っ子の育成

洲本市立広石小学校 校長 十河 巧



明者として、昭和25年11月3日文化勲章を受章されたことも記されています。

令和2年4月に赴任いたしました。広石小学校は、明治7年4月に住所、広石中の持明寺に広石小学校として創立されたのが始まりです。この歴史ある広石小学校の卒業生でもある三島博士の肖像写真が校長室や各教室に掲げられています。博士の功績とその偉大さに頭が下がる思いです。校長室の肖像写真には、三島博士が明治26年2月広石下組に生まれ、昭和50年11月9日逝去されたと記載されています。また、MK磁石鋼発

この広石が生んだ偉人、三島博士については、平成23年3月に兵庫県教育委員会が作成した兵庫県道徳副読本小学校五・六年『心ときめく』に「未来をつくる仕事」と題して掲載されており、兵庫県下の小学校で活用されています。本校では、本広報の前号(第46号)でも紹介されていましたが、四年生が顕彰室を見学し、展示物を取り取り五感を通して学習に取り組んでいます。学習後の児童の感想を少し紹介させていただきます。

ぼくは、MK磁石鋼がなかったら、ぼく達の生活に存在しなかったものがあつたかもしれないと思いました。ぼく達が毎日の生活で使っているものは、MK磁石鋼が使われているものがたくさんあります。例えば、電子レンジや冷蔵庫、炊飯器、飛行機や自動車にも使われていることを知りました。MK磁石鋼は、ぼく達の生活になくはならないものだと思いました。

三島博士は、小さいころ学校へ行く前に家の手伝いをし、運動もよくできたそうです。三島博士はたくさん努力をしたからこそ、MK磁石鋼を発明してすごいと思いました。ぼくが一番心に残った博士の言葉は、「知能を磨く努力こそ未来を切り拓く道となります。」です。ぼくも、努力して未来を切り拓いていきたいです。(四年 男子児童)



三島徳七ものがたりのDVDを鑑賞し、説明を受ける子どもたち

夢をかなえる 努力が必要」ということを意味しています。児童の感想にもありましたように、「努力して未来を切り拓いていく。」三島博士の志を引き継ぎ、夢をかなえるために日々努力を続け、限らない可能性を秘めた広石っ子を地域(社会)・家庭・学校が一丸となって育てていきたいと思っています。

ごあいさつ

三島博士顕彰会 会長 小林 広志



皆様こんにちは、昨年の4月から三島博士顕彰会の会長に就任しております小林です。

日頃は三島博士顕彰会の活動にご支援、ご協力を賜わりまして本当にありがとうございます。昨年は新型コロナウイルスの感染拡大により、通常の生活が一変しました。このため、私たち顕彰会としての活動もほとんど実施できませんでした。

三島博士顕彰会も設立から24年目となり、一人でも多くの皆様に三島徳七博士、良績博士を知っていただくように楽しく見学し、学べるような顕彰室への展示のリニューアル

ル化を現在進めています。また、徳七博士の生い立ちから晩年になるまでの功績やエピソードをより深く知っていただけるように普及版「三島徳七物語」の小冊子も出版しました。会員の皆様や徳七博士の生涯・業績等に興味をお持ちの方々に、お配りしますので、ぜひご覧ください。

今年度は、一日も早くコロナが収束して、「子どもが集い体験学習」「科学のふしぎ三島教室」「研修見学会」「講演会などの行事が無事行える事を願っています。

そして、青少年に健全な夢を与え、地域の人々に新たな情報に接する機会を提供することにより、三島精神が継承されるようにがんばって行きたいと思っております。

洲本市まちづくり懇談会で顕彰会の取り組みを発表

令和2年11月18日、洲本市まちづくり懇談会に於いて当会事務局長の片山仁史氏が「広石地区を中心とした三島博士顕彰会の取り組みについて」発表を行いました。

「じでしたか」という問いかけから、世界で使われているMK磁石鋼の発明者であり、日本の10大発明家の一人であること等を紹介した後、苦学しながら立教中学に編入学しその後第一高等学校から東京帝大に入学した博

士の生い立ちや、その後研究を重ねて永久磁石MK鋼を発明し文化勲章をはじめ世界から数々の賞を受けたことを紹介しました。

また、博士は自分を育て、支援してくれた郷里への熱い思いから広石小学校児童へ多額の育英資金を寄付し、徳七博士亡き後に博士の長男で原子力工学と原子力安全性の世界的権威者であった良績博士も多額の寄付をして、五色町の子どもたちに奨学金を提供する育英基金が創設されたこと又この両博士の志と偉業を後世に伝え、健全な青少年の育成に寄与することを目的に三島博士顕彰会が設立されたことを紹介しました。

そして、活動として子どもの集い体験学習や洲本市の委託事業としての科学のふしぎ三島教室の実施、講演会広報紙の発行を行っていることなどを説明し、さらに今後の活動として一人でも多くの人に三島徳七博士の人と業績を知ってもらうための取り組みを広石地区から洲本市内、島内へと広げていくことをめざしていることなどを発表しました。



顕彰会の取り組みを熱弁する顕彰会事務局長の片山仁史氏

令和2年度収支及び  
令和3年度収支予定

◎収入の部 (単位：千円)			
項目	2年度	3年度計画	摘要
繰越金	90	47	
会費	452	460	個人・法人会費
助成金	380	280	洲本市 280 淡路の偉人顕彰会 100
その他収入	0	140	事業参加者負担金
改修引当金	250	0	
雑収入	3	0	預金利息他
計	1,175	927	

◎支出の部 (単位：千円)			
項目	2年度	3年度計画	摘要
事業費	1,021	790	
内訳	295	310	広報・ホームページ管理
	35	100	体験学習子ども会
	0	290	見学会
	0	20	講演会
	691	70	調査研究費
	再掲	—	令和2年度
	459	—	三島徳七物語冊子作成
232	—	顕彰室改修他	
会議費	38	15	総会・役員会
事務費	5	40	
通信費	37	45	
諸雑費	27	20	
予備費	0	17	
次年度繰越金	47	—	
計	1,175	927	

第25回定例総会のお知らせ

例年地域福祉センターみやまホールで開催しております定例総会ですが、新型コロナウイルス拡散の現状により、会員の皆様方には書面による総会を実施し、ハガキにて過半数の承認を得ました。第25回定例総会は成立したことをご報告します。

編集後記

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大で始まり、感染拡大で終わる1年となりました。祭りをはじめほとんどのイベント、行事は中止となり、顕彰会活動も同様の事態となりました。今年は一日も早く新型コロナウイルスのワクチン接種が完了し、感染拡大が収束することを願うばかりです。

(T・K)

令和3年度の取り組みについて

- 令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により大半の事業が中止を余儀なくされましたが、令和3年度も感染状況を見ながら、青少年に健全な夢を与え、三島精神を次の世代に受け継いでいけるように創意と工夫をこらして事業に取り組んでいきたいと考えております。
- ◎主要事業の計画は次のとおりです
  - 1、子どもの集い体験学習の開催  
体験と経験を重視し、健全な青少年の育成に寄与するよう教育関係者と連携し、協議しながら実施する。
  - 2、視察見学会の開催  
会員を対象に施設、場所を選択し、情報の提供と
  - 3、講演会の開催  
活力ある地域づくりのための情報を提供する場として、必要に応じて開催する。
  - 4、広報「三島」の発行  
各種活動状況を報告し、本会に理解を得るために年2回発行する。
  - 5、より広範な顕彰活動の実施  
普及版三島徳七物語を活用して博士の認知度を高める。
  - 6、調査研究の実施  
引き続き顕彰室の展示内容の見直し、充実及び諸活動実施に必要な事について調査研究を行う。

MK磁石鋼発明から90周年を記念して  
普及版「三島徳七物語」を発行



昨年より顕彰室のリニューアル事業を実施していただきましたが、もう少し事業を拡大し、顕彰活動を広めるツールとして徳七博士の伝記本を作成することになりました。既に「金属工学へのみちひとすじ」や「三島博士

三代記」の伝記本を発行しておりますが、かなりボリュームがあるため多くの方にお読みいただけない可能性があり、また子供用の「三島徳七ものがたり」は大人には物足りなく思われるため、この度、内容は平易であるが、博士の偉業と生き様が詳しく分かる読み物として「三島博士三代記」を要約した「普及版 三島徳七物語」A5判、100ページを三島良直氏監修のもとに作成しました。新版は関連記事やエピソード、写真も追加しており興味を持ってお読みいただけるかと思っております。これを機会にぜひご一読よろしくお願いたします。

今回本冊子を監修いただきました徳七博士の孫・三島良直氏(東京工業大学前学長 現・国立研究開発法人日本医療研究開発機構理事長より、次の2つのエピソードを提供いただきました。

孫からのとっておきのお話  
三代目 三島良直

その1...  
私が中学生になってすぐの1963年頃に英国でThe Beatlesという4人グループが世界的に爆発的な人気を博したことはご存知の方も多いでしょう。このグループは1962年にデビューして世界のポップ・ミュージックを席巻して、1970年に惜しまれながら事実上の解散となりました。中学2年の頃に彼らのヒット曲をラジオで初めて聞いたときにはまさに電撃的なショックを感じ、それから本当のマニアになりました。新しいアルバム(当時はレコード)が発売されると必ずその日に手に入れるやら、ギターを買ってなんとか真似をしようと思ったり、毎日のように2階の部屋で一人大騒ぎして楽しんでいました。その頃同居していた祖父が一日の大半を過ごす書斎はまさに私の部屋の真下でしたが、一度も

「うるさい！」と言われたことがなかったのは今でも不思議です。

その2...  
1968年3月高校3年生の私は3月はじめに東京大学一本で受験に望みました。そして約1週間後、東大駒場キャンパスのテニスコートに合格者の受験番号が張り出されるかたちでの合格発表がありました。結果は完敗、これを確認後ポットしながら新宿区の自宅に戻りましたが父も母も落胆する中、祖父だけは「直ちゃん、今日のことほきつとあなたの人生にとって良いことになると思いなさい」とやさしく諭されたことを鮮明に覚えています。翌年リベンジよろしく再挑戦するはずの直前、当時の大学紛争のピークの中で1月末になって東大入試が史上最初で最後の中止になりました。そのため東京工業大学を受けて合格、祖父の言葉を胸に新たな気持ちで大学生としてのスタートを切りました。

今回の発刊の趣旨は大変有意義であり、より幅広い世代の方々に祖父の偉業に親しんでいただけたらと思うと心より嬉しく存じます。

普及版「三島徳七物語」より抜粋

磁石メーカー「二六製作所」様より  
じしゃく実験キットの提供を受ける

神戸の磁石メーカー株式会社二六製作所の八田様より当顕彰会の活動に賛同いただき、子どもたちが楽しめるじしゃく屋さんの実験セット(●動くスライム...スライムを磁石の力で操ってみよう ●ガウス加速器...ボール型のネオジム磁石とスチールボールを使って勢いよく飛び出すガウス加速器を作ってみよう ●リニアモーター...アルミパイプに電気を流して簡単リニアモーターを作ってみよう)などを提供していただきました。まことにありがとうございました。

新会員募集!!

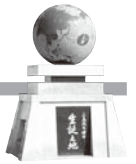
三島博士顕彰会では、郷土が生んだ偉人、三島徳七博士親子二代を顕彰し、併せて、健全な青少年の育成に寄与することを目的に設立され、会員からの会費により事業を運営しています。皆様方のご支援、ご協力をお願いします。

- 【会費】 ●個人 年額(1口)/ 2,000円
- 法人 年額(1口)/10,000円

連絡・問い合わせ先  
会長・小林 ☎(0799)35-0663 事務局長・片山 ☎(0799)35-0467

普及版「三島徳七物語」を無料配布します

小冊子是非売品ですので、是非とも手に入れて読んでみたい方には、送料のみご負担いただければ、冊子は無料でお送りさせていただきます。(お名前、住所、電話番号を記入の上、はがき、FAX、または本会ホームページの「お問い合わせ」欄より、当方にお申込みください。追って「着払いのゆうメール」でお送りしますので、冊子配達時に配達員さんに送料236円をお支払いください。)お問い合わせは 三島博士顕彰会事務局 片山仁史 ☎090・6203・1608まで



# よりわかりやすく、楽しめる顕彰室に ただいまリニューアル中



磁力浮上、磁力走行を体感しながら、リニアモーターカーの仕組みを学ぶ

三島博士顕彰室では昨年12月から、よりわかりやすく見学できるよう改修しております。

- 徳七博士の幼少期から大学まで
- 郷里とのつながり
- MK磁石鋼をはじめとした研究の数々
- 学会・産業界への貢献
- 世界各国からの表彰
- 良績博士の研究と学会活動や切手収集
- 磁石の不思議と現代社会への貢献などコーナー別に配置。子どもたちも楽しめるリニアモーターカーの模型や学べる磁石の実験器具などを設置しております。

近日中に公開予定ですが、コロナまん延防止等により遅れる可能性もありますのでご了承ください。



## ホームページも ご覧いただけます！

「三島博士」で  
検索！

三島博士  検索

三島博士顕彰会ホームページを見やすく、充実した内容でお届けしております。

定期的に更新されますので、ぜひご覧ください！

**f 三島博士顕彰会**

フェイスブックでも最新情報を配信中！

いいね！  
してね！